

令和4年度 第1回 さいたま市バリアフリー専門部会

■日時：令和4年10月25日（火）午後3時00分～

■場所：浦和コミュニティセンター 9階 第15集会室

■出欠：出席者24名（うち代理出席3名）、欠席者6名

■出席者名簿（敬称略）

	氏名	所属団体役職等	備考
1	稲垣 具志	東京都市大学 建築都市デザイン学部 都市工学科 准教授	
2	野口 祐子	日本工業大学 建築学部 建築学科 生活環境デザインコース 教授	
3	吉野 博之	社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会 事務局長	
4	臼井 常雄	障害者（児）の生活と権利を守るさいたま市民の会	
5	小藤 伸一	さいたま市老人クラブ連合会 理事	
6	関 昌美	NPO 法人 彩の子ネットワーク 代表理事	
7	竹内 政治	さいたま市精神障害者当事者会ウィーズ 事務局長	
8	中野 勇	NPO 法人さいたま市視覚障害者福祉協会 副理事長	
9	星野 美子	一般社団法人さいたま市手をつなぐ育成会 理事	
10	町田 健一	さいたま市聴覚障害者協会 理事	
11	矢口 ミヤ子	さいたま市身体障害者福祉協会 理事	
12	米山 恵美子	NPO 法人さいたま市障害難病団体協議会 副代表	
13	金子 賢治	公募委員	
14	山根 康平	東日本旅客鉄道株式会社 大宮支社 経営戦略ユニット 課長代理	代理
15	小田嶋 一樹	埼玉新都市交通株式会社 取締役技術部長	
16	関根 肇	一般社団法人埼玉県バス協会 専務理事	
17	藤田 貢	一般社団法人埼玉県乗用自動車協会 事務局長	
18	小川 ゆかり	国土交通省関東運輸局 埼玉運輸支局 総務企画担当 首席運輸企画専門官	
19	鷹巣 則和	埼玉県警察本部 交通部 交通規制課 管制保全補佐	代理
20	永島 淳	さいたま市 保健福祉局 福祉部長	
21	遠山 昭人	さいたま市 保健福祉局 長寿応援部長	
22	高木 範道	さいたま市 建設局 建築部長	
23	山本 高弘	さいたま市 教育委員会事務局 学校教育部 次長	代理
24	本多 建雄	さいたま市 都市局 都市計画部長	

<p>次 第</p>	<p>1. 開 会 2. 議 題 (1) 部会長・副部会長の選任について (2) 改定版基本構想に基づく特定事業の進捗管理について (3) バリアフリー整備に関する利用者アンケート（案）について 3. その他 4. 閉 会</p>
<p>配布資料</p>	<p>○次第 ○出席者名簿・席次表 ○資料1 さいたま市バリアフリー専門部会設置要綱・委員名簿 ○資料2 改定版基本構想の特定事業計画とりまとめについて ○資料3-1 バリアフリー整備に関する利用者アンケート 企画書 ○資料3-2 バリアフリー整備に関する利用者アンケート（案） ○参考資料1 令和3年度第2回さいたま市バリアフリー専門部会 議事録 ○参考資料2 令和3年度後期「子どもの提案」結果公表（抜粋）</p>
<p>会議写真</p>	

1. 開会

2. 議題

(1) 部会長・副部会長の選任について

- 事務局から、昨年度に引き続き、東京都市大学の稲垣委員に部会長を、副部会長には東洋大学の水村委員を選任する提案があった。
⇒委員の了承が得られ、就任となった。

(2) 改定版基本構想に基づく特定事業の進捗管理について

- 今回の依頼で回答していただく箇所はどこか。
⇒基本構想に書かれた内容に対応する具体の計画と、今年度時点の実施状況を回答いただく。

(3) バリアフリー整備に関する利用者アンケート(案)について

- アンケートは大宮地区が対象となっているが、回答者の居住地は市内どの地区でもよいか。また対象エリアは駅からどれくらいの範囲か。
⇒回答者の居住地は限定していないが、できれば大宮地区を訪れることがある方、利用される方がよいと考える。重点整備地区である「大宮地区」の範囲は、駅中心から1キロの範囲。
- 視覚障害の方は別紙案内図が見えないので、かなり難しい。横に介助の方がいて、これぐらいのエリアだという説明をしていただくという想定なのであればいいが、全員にその形をお願いするのか。点字資料の添付など、そのあたりの工夫はどのようにお考えか。
⇒現時点ではこの資料をもとに介助の方にご説明のサポートをしていただくという想定。音声でご案内できるような形をとるなど、今後実証を重ねていく中で配慮を行っていきたいと考えている。
- 利用実感の変化をきくには、大宮駅周辺によく来られた方でないと実感がないので、大宮区周辺に住んでいる方を中心にやる方が良いのではないかと。また、大宮地区での今までのバリアフリーの取組がご理解いただけていない場合は、調査の意図からずれた回答となる懸念があるので、事前に説明が必要ではないかと。
⇒大宮地区、大宮駅を利用されている方が実感をしやすく、答えていただくのが一番良いので、その方が大宮地区周辺に来訪されるかどうか確認をしたほうがよいと思われる。これまでの大宮地区におけるバリアフリーの取組に関する説明を簡単にまとめたものも付けさせていただく。
- 別紙案内図だけでは情報不足なので、大宮でどういうバリアフリー化、ユニバーサルデザインの整備をやったのかということをもう少し丁寧な説明ができる資料、見えない方への対応も含めて検討いただきたい。
- 基本構想では重点整備地区以外は何もしないのか。重点整備地区だけやっても実際自分が住んでいる場所でバリアフリー化されていないので、それがもどかしい。重点整備地区だけに執着するのではなく、もっと幅広く見て整備していただきたい。
⇒基本構想では重点的・一体的で実効性のある整備を推進するために、重点整備地区を優先的に進めることを定めている。重点整備地区以外のバリアフリー化をしないわけではなく、基本構想の考え方を重点整備地区から推進地区、市内全体へと広げていく考え。推進地区について集中的にバリアフリー化を進めていくのは難しいが、バリアフリー化の主な整備方針を定めており、道路整備や区画整理などを進める際には、この整備方針を参考に、バリアフリー化に取り組んでいただいている。

- 基本構想における重点整備地区は、多くのニーズが集積しやすい鉄道駅の周辺1 kmで計画的に、法的な縛りも強い中でバリアフリー化を推し進めていくもの。今回実施するアンケートで、当事者目線からでないことと評価できないことを抽出することで、さいたま市の中の1つのモデルになる。それで終わりではなく、それ以外の地域も、大宮で進めていく取組を参考にしながら、様々な新しい考え方を適用していくイメージだと思われるので、当事者のそれぞれの立場からニーズを継続的に上げていくことが必要。
- アンケートの回答方法についてインターネット、スマートフォンを使ったWeb回答のほうが、印刷物よりも回答しやすい。
⇒今回は、電子メール等によるデータでの回答方法を検討する。
- 問5は、3択ではなく5択にしたほうがよいのではないか。また、問5で良くなったと回答した場合、問6の同じ項目は「満足」しか回答出来ないのではないかと、思ってしまう。バリアフリーの水準レベルが上昇したという主旨が伝わる表現となるよう、分かりやすく工夫していただきたい。
⇒検討する。
- 大宮駅の東口はデッキを今後つくる予定があると聞いた。駅からエレベーターやエスカレーターを使って歩くのは、歩行者も多くて高齢者や障害者は大変。デッキがあれば、駅から移動がしやすくなるが、それが必要かどうかの質問があってもよいのではないか。
- 今回のアンケートが、大宮だけでなく他の重点整備地区にも適用できるような形での設計になっているが、大宮ならではの地区の特性に係る課題がなぜ漏れているのかという印象を持たれるのではないか。
⇒現時点で大宮駅周辺ではデッキがあるのは西口側。今後どうなるかは分からないが、基本的に今回のアンケートは、5年前と今の状態がどう変わったかというところと、現状の大宮駅周辺での満足度を問う形。現時点でデッキが設置されていない東口側については、このアンケートとしては難しいと思われる。
- 西口と東口で環境が異なるので、西口に関しては満足、東口に関してはやや不満という場合に、地区全体の総合評価としてはどうなるのか。回答者個人の印象に引きずられる危険性がある。
- 問5と問6が重なるようで重ならないところが難しい。問6は満足度を聞いているので答えやすいが、問5については5年間でどのように変化したかということがまずわかりにくい。乗り物について電車はタクシーと一緒にされているが、ユニバーサルデザインタクシーも増えており、車両の乗り降りのしやすさは、それぞれ様々な意見が出てくると思われる。
- このアンケートを全地区共通で聞いて、それを比較するのか。あるいはまち歩き勉強会や、事業進捗率で把握できなかったことを把握するというのであれば、もう少し地区個別に質問を考えてもよいのではないか。
⇒地区の比較も視野に置いて、他地区でも使えるようにある程度一般化できる設問にしているが、地区特性に応じた設問を用意することも考えられる。ただ、回答への負担感を考慮してボリュームを抑えていたところであったが、また増やしていく形になる。
- 別紙案内図に記載の「大宮地区におけるバリアフリーの取り組み」は、アンケートの設問とリンクした方がわかりやすい。こういうことを取り組んできたけれどもそれについてお聞きする、というような形にしたほうがわかりやすいのではないか。
⇒別紙案内図と設問をリンクさせた資料構成については、検討するが作成に時間を要する。

- バリアフリートイレという言葉は、まだ一般的ではない。機能分散した結果の総称であるので、車椅子使用者トイレとするか、単語の説明が必要。
⇒説明を加えるか、一般に使用されている表現にするか検討する。
 - 回答者の負担も考える必要があるが、答えにくいと結局いい加減に回答されてしまう恐れがあるので、ボリュームがあっても分かりやすい資料があったほうが良い。
 - アンケートの中に障害の種類とあるが、知的障害、精神障害、様々。市民全員にということではなく、駅員さん、車両の運転手さんなどには知的障害について詳しく知っていただきたい。アンケートの中にも障害の種類について説明が欲しい。
⇒今後広く関係団体以外の方にもアンケートを実施していくときに、障害特性や配慮が必要なことなども、周知できるような方法も検討する。
 - 知的、精神、発達障害の方にアンケートを回答いただくにあたって、文字にルビをふるなどの対応についても検討いただきたい。
 - アンケートの設問が様々な要素を含んでいるので、どこを視点にして配布するか迷う。細かくなると本当に回答が大変になるので、どういったところを聞きたいのか、全体のイメージとして市民の方がこう捉えているという回答を導きたいのか、着目するところを明確にさせていただけるとありがたい。
 - 大宮地区に住んでいる人がアンケートを回答するときに、大宮地区への外出頻度や移動手段を聞くのはおかしいのではないかと。
⇒大宮地区と大宮区が混在しているため、「大宮地区」の定義を明確化にし、さらに、大宮地区に住んでいる方への表現についても分かりやすくなるよう検討する。
 - 満足度は満足が5点、不満が1点のほうが良いのではないかと。また、問6も問5と同じよう評価は5点方式がいいのではないかと。
⇒検討する。
 - 今後、多くの方々にアンケートをするという場面を想定した際、視覚障害の方や聴覚障害の方にアンケートをとりたいたいときに、無作為抽出のアンケートでは難しいかと思うが、どう実施していくのか。
⇒抽出の方法を今後検討する。
 - 視覚障害といっても様々な見え方があり、聴覚障害でも全聾か難聴かなど、障害程度が多岐にわたるが、一つのアンケートで全部まとめるとあまりにかさばる。視覚障害者向けのアンケートには視覚のことに関する詳細な情報を聞けるようなアンケートを実施することもできる。将来的な実施は別としても、今回はトライアルなので中野さんに協力をお願いして視覚障害の方用のアンケートを作成してはどうか。
 - アンケートのレイアウトについて、4ページのうち1ページ目の表紙を別紙にすることで、大宮地区特性に応じた設問のための紙面を確保できるのではないかと。また、問5、6が分かりにくいという問題に関しては、問6を軸に問5を横に並べて、5年前との変化を問うのはどうかかと。
⇒検討する。
3. その他
- 事務局から、子どもの提案制度において、「心のバリアフリー」を広めていくには？」をテーマに意見募集を行った結果について報告があった。

■議事内容

発言者	発言内容
	1. 開会
司会（事務局）	<p>本日は、お忙しいところご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、マスク着用や検温等、御協力いただき、重ねてお礼申し上げます。</p> <p>本日の会議は概ね1時間30分程度を予定しております。円滑な議事進行にご協力の程よろしくお願いいたします。</p>
事務局	・配付資料の確認
司会（事務局）	<p>議事に入ります前に、改めて本専門部会の位置付けや目的について改めて簡単にご説明させていただきます。</p> <p>さいたま市バリアフリー専門部会につきましては、「さいたま市だれもが住みよい福祉のまちづくり条例」に基づき、「さいたま市福祉のまちづくり推進協議会」の部会として設置されております。</p> <p>本専門部会では、さいたま市のバリアフリー推進に関し、専門的見地からの意見の聴取や検討を行うことを目的としており、例年、年1回から2回ほど開催しております。審議の内容は、バリアフリー基本構想の策定・進行管理に関するもののほか、バリアフリーの推進に必要な事項について、ご議論いただくこととなっております。</p>
事務局	・委員紹介
	2. 議題
司会（事務局）	<p>議事の進行につきましては、部会長にお願いするところですが、本日はまだ部会長が決まっておりませんので、しばらく、私の方で進行させていただきます。</p> <p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議題（1）部会長・副部会長の選任について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	（1）部会長・副部会長の選任について ・資料1に基づき説明
司会（事務局）	<p>ただいま事務局より説明がありましたとおり、まずは部会長及び副部会長を選出いただきたく存じます。</p> <p>部会長・副部会長について、ご推薦等はございますか。</p>
関根委員	<p>今回、多くの委員の方が変わられましたので、事務局からご提案があればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局としては、これまで専門部会の部会長を引き受けていただいております、東京都市大学の稲垣委員に引き続き部会長を、また、副部会長には、同様に東洋大学の水村委員にお願いしたいと考えております。なお、水村委員は本日ご欠席でございますが、副部会長の継続については、委員の皆様のご了解があれば、お引き受けいただけるとご返答いただいております。</p>
司会（事務局）	<p>ただいま部会長に稲垣委員、副部会長に水村委員との提案が事務局からありました。皆様いかがでしょうか。</p> <p>（了承の拍手）</p>

発言者	発言内容
司会（事務局）	<p>： ありがとうございます。それでは稲垣委員に部会長、水村委員に副部会長をお願いしたいと思います。稲垣委員におかれては恐れ入りますが、部会長席への移動をお願い致します。</p> <p>ここで部会長の就任にあたりまして、ご挨拶を頂きたいと思います。稲垣部会長、よろしくお願ひ致します。</p>
稲垣部会長	<p>： 東京都市大学から参りました稲垣と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。部会長になり今回3期目になります。前部会長の埼玉大学の久保田先生からは、さいたま市は日本の中でも先駆けてバリアフリー基本構想を戦略的に、計画的に策定して頑張っている街だから、しっかりと部会長を務めるようにと釘を刺されたような気持ちで臨むこととなりました。</p> <p>この4年間の中でそのバリアフリー基本構想を大きく改定するという、非常に重責を伴う検討事項を皆様と一緒に議論させていただいた次第でございます。</p> <p>その中で皆様ご存知の通りバリアフリー法をはじめ国内の様々な決まりごとが、オリンピック・パラリンピックの招致を契機に大きく変わりました。その中で、皆様が鉄道などの公共交通を利用したり、百貨店などを利用したりする中で、街のバリアフリーの変化というものを肌で感じ取られているのではないかと考えております。</p> <p>ところが、まだまだ課題は山積しておりまして、新たな共生社会の実現に向けた社会の新しい角度からの要請もあります。そのような情報をまとめながら、ニーズは何なのかということ直視しながら、皆様それぞれの立場からご意見をいただき、よりよいさいたまの、住みよい、移動しやすいまちづくりについて検討していきたいと考えております。</p> <p>私は専門家としてここに来ておりますが、どちらかというと勉強のつもりで来ております。大学院の授業では、ちょうど今、さいたま市のバリアフリー基本構想を学生に読ませていて、近々その発表も予定しております。</p> <p>私も真剣に取り組んでいきたいと思っておりますので、2年間どうぞよろしくお願ひします。</p>
司会（事務局）	<p>： ありがとうございます。</p> <p>それでは、これからの進行につきましては、稲垣部会長をお願いしたいと存じます。稲垣部会長、よろしくお願ひします。</p>
稲垣部会長	<p>： それでは、ここからの議事について進行させていただきます。</p> <p>まず、委員の出席状況について事務局より報告をお願いします。</p>
事務局	<p>： 委員の出席状況についてご報告いたします。</p> <p>本日は、30名の委員中21名の出席でございます。したがって、さいたま市バリアフリー専門部会設置要綱の規定による委員の過半数に達しておりますので、本日の会議は成立しますことをご報告いたします。</p>
稲垣部会長	<p>： 事務局の報告のとおり、本日の会議は成立いたしました。</p> <p>続きまして、本日の会議の公開についてお諮りしたいと思います。本日の議事に関して、非公開事項に該当する案件があるか事務局に伺います。</p>
事務局	<p>： 本日の会議では、非公開事項に該当する議事はありません。</p>

発言者	発言内容
稲垣部会長	<p>： 事務局から、本日は非公開事項に該当する議事がないとのことでしたので、本日の会議を公開で行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。異議なしと認めて、本日の会議は公開とさせていただきます。傍聴者についていかがでしょうか。事務局は、傍聴者について報告をお願いします。</p>
事務局	<p>： 本日は1名の傍聴者がいらっしゃいますので、傍聴者が入場するまで、しばらくお待ちください。</p> <p><傍聴者入場></p>
事務局	<p>： 傍聴者の入場が終わりましたので、稲垣部会長、よろしく願いいたします。</p>
稲垣部会長	<p>： 議事に入ります前に、傍聴される方に傍聴上のご注意を申し上げます。</p> <p>部会開催中は静かに傍聴し、進行の妨げとなるような行為はお控えいただきますよう、よろしくお願いします。</p> <p>それでは、議事を進めさせていただきます。</p> <p>議題（2）改定版基本構想に基づく特定事業の進捗管理について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>： （2）改定版基本構想に基づく特定事業の進捗管理について</p> <p>・資料2に基づき説明</p>
稲垣部会長	<p>： ありがとうございます。今回新たな特定事業計画を具体的に進めていく中で、事業者の皆様には事業調書をご記入いただいて事務局に提出いただくと、事務局がそれをとりまとめて次の専門部会で報告していくということでご説明いただきました。</p> <p>私から確認ですが、調書の説明の中で赤枠の中を埋めていただくということでしたが、どの部分でしょうか。</p>
事務局	<p>： 申し訳ございません。資料の赤枠が分かりづらくなっておりますが、資料6ページの具体的な事業内容のうち、事業計画の実施時期、実施状況等の部分のことです。</p>
稲垣部会長	<p>： 分かりました。基本構想に書かれた内容が表の左側に書かれているので、これに対応する具体の計画と、今年度時点の実施状況を右側に書いていただくということですね。皆様からご意見はございませんか。事業者の皆様へはこの後、この調書の作成依頼が事務局からあるということですが、よろしいでしょうか。</p> <p>では、次に議題（3）バリアフリー整備に関する利用者アンケート（案）について、事務局から説明してください。</p>
事務局	<p>： （3）バリアフリー整備に関する利用者アンケート（案）について</p> <p>・資料3-1、3-2、別紙案内図に基づき説明</p>

発言者	発言内容
稲垣部会長	<p>： 今までまち歩き勉強会で行っていた実際の現場における評価は、質的な要素がすごく大きいわけですが、今回、進捗率とは別に、まち歩きを実施した場所だけではなくて、重点整備地区のエリア全体的なバリアフリーの質的な評価、当事者の目線からの評価をしたい、その中でこのアンケートという手法を使って実施したいという趣旨から、事務局から詳細にご説明をいただいたところです。</p> <p>こういうアンケートをすることによって何%の人がどれくらい満足しているのか、量的な数字を持った情報も入ってきますので、これをずっと毎年繰り返していくと、様々な地区でどのように質的な評価が変わっているのかといったところも分かってくるのではないかとといったところで、アンケートが設計されています。</p> <p>私から補足しますと、問5がバリアフリー施策を市や事業者関係者の皆さんが頑張って取り組んできたことによって、おおよそ5年を目安として前よりどれくらい変わりましたか、という変化を伺う設問です。</p> <p>問6は、これに対して今現在、どれくらい満足しているのか、という設問です。</p> <p>変化として良くなったと答えていても、現状に対してはそれほど満足していないかもしれないし、変わらない、と言っても良いまま変わらないのか、或いは悪いまま変わらないのか、問5だけでは分からないので、問6とあわせて聞くことで大宮地区がどう評価されているのかが見えてくる、という意図があるのだと思います。</p> <p>たたき台ですので皆様からのご意見をいただきたいと思います。</p>
中野委員	<p>： アンケートは大宮地区が対象となっていますが、回答する人の居住地は市内どこの地区でもよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>： 回答者は限定していませんが、できれば大宮地区を訪れることがある方、利用される方がよろしいのかなと思います。</p>
中野委員	<p>： 対象エリアは駅からどのくらいの想定で考えているのでしょうか。</p>
事務局	<p>： 重点整備地区につきましては、駅中心から1キロの範囲となっておりますので、東西端から端ですと2キロの四角の中ということになります。</p>
稲垣部会長	<p>： 今の内容について確認ですが、視覚障害の方は別紙案内図が見えませんが、かなり難しいと思います。横に介助の方がいて、これぐらいのエリアだという説明をしていただくという想定なのであればいいですが、全員にその形をお願いする想定でいるのでしょうか。中野さんからの質問は、そのようなことも含めての発言と思いますが、そのあたりの工夫はどのようにお考えですか。</p>
事務局	<p>： 現時点ではこの資料をもとに介助の方にご説明のサポートをしていただくという想定で作っていますが、ご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>
中野委員	<p>： 前に、さいたま新都心のまち歩きをしたとき、視覚障害者は私ともう1人の弱視の方がいらっしゃいましたが、ガイドヘルパーがついていなければ、とてもまち歩きは出来ません。資料等も私は拡大鏡で見ることが出来ますが、全盲の方もいますので、資料に点字を添付していただけるのか、合理的配慮が出来るのかお聞かせください。</p>

発言者	発言内容
事務局	<p>： アンケートの内容そのものを、例えば音声でご案内できるような形をとるなど、方法としては考えられるところもありますので、実証を重ねていく中でそのあたりの配慮を行っていきたいと考えております。</p>
小藤委員	<p>： 企画書の6ページ目にある利用実感の変化とありますが、これまでおおむね5年間バリアフリー化に取り組んできたことによる変化に対する利用者目線での実感ということだと思います。</p> <p>私自身は老人クラブの代表で参りましたが、アンケートをとる人が大宮駅を利用しているかどうかという問題が基本的にあって、もう一つさらに言うと、こういうバリアフリー化が進んでいるよということを事前に話さないと、アンケートがアンケートにならなく個人の感情が優先してくるのではないのでしょうか。それから先ほどと同じですが、大宮駅近辺によく来られた方でないと実感がないわけですから、例えば老人クラブで大宮区周辺に住んでいる方を中心にやる方が、より実感としてわかっている人の方がいいのではないかと思います。</p> <p>私ども専門部会として事前にきちっと説明してやらないと、企画本来のアンケートの正しい答えにならないのではないかなと思います。</p>
稲垣部会長	<p>： 大宮地区での今までのバリアフリーの取組がご理解いただけていない場合は、調査の意図からずれた回答となる懸念があるのではないかと、また、大宮区に住んでいる方々を中心としたほうがより適した回答を集計出来るのではないかと、というご意見ですがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>： その通りだと思います。大宮区、大宮駅を利用されている方が実感をしやすいと、答えていただくのが一番良いと思います。</p> <p>最近5年間で言いますと区役所が新しくできて、西口では区画整理が進んできた中で、一体どういうものがバリアフリーなのかというところの説明が案では足りていないと思います。例えば写真で出ているだけではなく、点字ブロックはこういったものだという説明を簡単にまとめたものも付けさせていただこうと思います。</p>
稲垣部会長	<p>： 依頼されるときに、その方が大宮駅を利用されるかどうか確認をしたほうがよいと思います。この別紙案内図だけでは情報不足なのかもしれないところがあるので、大宮で一体どういうバリアフリー化、ユニバーサルデザインの整備をやったのかということをもう少し丁寧にメニューを取り上げながら説明できる資料、また見えない方への対応も含めて検討いただければと思います。</p>
竹内委員	<p>： 重点整備地区と強調しますが、このバリアフリー基本構想の中には重点地区以外は何もしませんよと明記されているのですか。重点整備地区だけやっても実際自分が住んでいる場所でバリアフリー化されていないので、それがもどかしく思っています。重点整備地区だけに執着するのではなく、もっと幅広く見ていただいて、整備していただけたらと思います。</p>

発言者	発言内容
事務局	<p>： バリアフリー基本構想の中では、優先順位として、重点整備地区を優先的に進めることを定めています。まず基本構想では重点整備地区を先に効果を上げてからというところになってきますので、どうしても重点整備地区を対象にということになります。</p> <p>もちろん、重点整備地区以外をバリアフリー化しないと言っているわけではありませので、基本構想の考え方を重点整備地区から推進地区、市内全体へと広げていくという考えでおります。</p>
竹内委員	<p>： それでは今後10年先20年先に、例えば私が住んでいる北区もバリアフリーは推進していただけるのでしょうか。</p>
事務局	<p>： 基本構想の中で重点整備地区以外の市内全鉄道駅周辺を中心に推進地区のエリアを設定しておりまして、バリアフリー化の主な整備方針を定めています。推進地区についても、駅から建物までのルートが描かれておりますので、そこに点字ブロックを設置したりしている地区もございます。</p> <p>不特定多数の方が利用される場所でないと、なかなか集中的にバリアフリー化を進めていくのは難しいところがございますが、道路整備や区画整理などを進める際には、この整備方針を参考に、バリアフリー化に取り組んでいただいております。</p>
竹内委員	<p>： まだまだ使いづらいところも多くありますので、目を向けて見ていただければと思います。</p>
稲垣部会長	<p>： 基本構想における重点整備地区は、選択と集中という表現が最適かは分かりませんが、多くのニーズが集積しやすい鉄道駅の周辺1kmで計画的に、法的な縛りも強い中でバリアフリー化を推し進めていくものです。</p> <p>そういった中で今回実施するアンケートで、重点整備地区の一つである大宮地区を対象に当事者目線からでないという評価できない点を抽出していくという意味で、さいたま市の1つのモデルになると思います。それで終わりということではなくて、それ以外の地域に関しては、大宮地区で計画的に法的な枠組みの中で進めていくものを参考にしながら、他の地区の整備にも様々な新しい考え方が適用されていくのだと思います。</p> <p>市も重点整備地区以外でバリアフリー化を進めるつもりがないというわけではないということですから、当事者のそれぞれの立場からニーズを上げていくことを継続的にやっていく必要があると思います。</p> <p>改正バリアフリー法で新しくマスタープランという制度ができました。法的な縛りがある事業は具体化できないけれども、重点整備地区以外のところも促進地区として、市全体としてどういう方向に向かってバリアフリー化を進めるのかという方針を、合意形成しやすくするために作るという制度です。さいたま市ではこの促進方針は明確にはされていませんが、そのような国全体の流れに沿って考えていかれると思います。</p>
白井委員	<p>： アンケートの回答方法についてインターネット、スマートフォンを使ったWeb回答のほうが、印刷物よりも回答しやすいと思います。</p>
事務局	<p>： 今回は、電子メール等を使用したデータでの回答方法を検討させていただければと思います。</p>
金子委員	<p>： アンケートの問5の聞き方に対して、3択ではなく5択にしたほうがよいのではないのでしょうか。</p> <p>また、問5で良くなったと回答した場合、問6の同じ項目は「満足」しか回答出来ないのではないかと、思ってしまいます。しかし、皆が「満足」と書いてしまったら、事業者の方々はどう満足してしまう。「良くなった」、「普通」の間にもうひとつ評価があっても良いのではないかと思います。</p>

発言者	発言内容
稲垣部会長	： ご意見のひとつ目は、3 択より 5 択にしたほうがよいのではないかと。ふたつ目は、「良くなった」という表現が「これで良しとされた」と解釈されてしまう恐れがあるというご指摘。バリアフリーの水準レベルが上昇したという主旨が伝わる表現となるよう、分かりやすく工夫していただきたいと思っておりますので、ご検討ください。
事務局	： 検討したいと思います。
町田委員	： 大宮駅の東口はデッキを今後つくる予定があるというような報告がありました。今は、駅からエレベーターやエスカレーターを使って歩いていますが、歩行者も多くて高齢者や障害者は大変です。デッキがあれば、駅から移動がしやすくなるけれども、それについて必要かどうかの質問があってもいいのではないのでしょうか。
稲垣部会長	： 今回このアンケートというのが、大宮だけでなく他の重点整備地区にも適用できるような形での設計になっています。地区特性からみた大宮ならではの大きな課題に関して、漏れているのではないかと捉えられる可能性が高いということです。おそらくアンケートを受け取った側としては、大宮のバリアフリーに関するアンケートの中で東口デッキのことになぜ触れられていないのか、なぜ漏れているのかという印象を持たれるのではないかと、別の視点での問題提起ではないのでしょうか。ただし、紙面を増やすと回答率に影響するのではないかととも思います。
事務局	： 現時点で大宮駅周辺ではデッキがあるのは西口側という形になります。今後どうなっていくかは私も存じ上げていないところですが、基本的にこちらのアンケートにつきましては、5 年前と今の状態がどう変わったかということと、現状の大宮駅周辺での満足度という形でございますので、今ある西口側のデッキの部分がどうかということをお聞きすることはできると思います。 ただ現時点で設置されていない東口側につきましては、このアンケートとしては難しいかなと思っています。
稲垣部会長	： 今のやり取りを聞いて思ったのですが、西口と東口で環境が異なるので、このままの形で実施するとすると総合評価としてはどうなるのか。西口に関しては満足、東口に関してはやや不満という場合に、地区全体の評価としては、回答者個人の印象に引きずられる危険性があるのかなと思います。

発言者	発言内容
野口委員	<p>： 日本工業大学の野口と申します。部会長と同様、問5問6が重なるように重ならないということで、気になるところです。</p> <p>問6は満足度を聞いているので答えやすい。問5については5年間でどのように変化したかということがまずわかりにくいので、もう少し詳しい資料をというお話がありました。例えば、乗り物について電車はタクシーと全部一緒にされていますが、この間ユニバーサルデザインタクシーも増えていると思いますし、車両の乗り降りのしやすさは、電車は変わらないけれども、タクシーは良くなったとか悪くなったとか様々な意見が出てくると思います。</p> <p>このアンケートをその地区全部共通で聞いて、後でそれを比較して、何か結果を出していくということがあるのか。あるいはまち歩き勉強会でまちを具体的に歩いて把握しきれなかったことや、事業進捗率で把握できなかったことを把握するというのであれば、もう少し地区個別に質問を考えてもいいのではないかな、とも思います。</p> <p>先ほど資料を詳しくということでしたけれども、今いただいているマップの左上に大宮地区におけるバリアフリーの取り組みと書いてありますが、アンケートの設問とリンクした方がわかりやすいのかなど、こういうことを取り組んできたけれどもそれについてお聞きする、というような形にしたほうが言いやすいのではないかなと思いました。</p> <p>もう一点バリアフリースイレという言葉を使っていますが、まだあまり知られてない。機能分散した結果の総称であるわけです。例えば車椅子使用者トイレだと、そう言ってしまうのもいいのかもしれないですし、単語の説明が必要だと思います。</p>
稲垣部会長	<p>： 問5に関しては、やはり回答者が分かりづらいのではないかな。また、乗り物の中で電車は分からないけどタクシーが良くなったというときに、どう総合評価できるのか。大宮とはまた別の地区と、最後に比較するために行っているのか、そうでなければ詳細な地区特性に着目して評価するほうがいいのではないかな。また別紙案内図とリンクした調査票の作り方について。最後にバリアフリースイレという言葉についてもご意見をいただきましたがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>： 他地区との比較については、ある程度比較も視野に置いて、他地区でも使えるように作っていた関係で、ある程度一般化できる設問にしていますが、地区特性に応じた設問もご用意するというのを考えてもいいのかなと思っています。ただ先ほどの資料の作りも含めてですが、やはり回答への負担感というところを少し気にしてボリューム感を抑えたところもございました。地区特性に合わせた設問を作る、資料をもう少し詳細な情報がわかるものを追加するなどすると、もう少しこれも増やしていく形になるのかなと思います。資料の作りとして、先ほどの別紙と合わせてリンクさせたような設問、あるいはその資料の詳細情報を追加するというところは、検討させていただきます。ただ、それに伴ってボリュームアップするというところと、もう少し準備時間を取る必要があるかなというところと、検討した上で、今後提示させていただきたいと思います。</p> <p>バリアフリースイレにつきましては、説明を加えるかあるいは一般に浸透している表現にするかを検討させていただきます。</p>
野口委員	<p>： ボリュームが多くて回答者の負担ということですが、それももちろん考えていただけたらと思います。答えにくくてモヤモヤして、結局いいやという感じで回答されてしまう恐れがあるので、答える側もボリュームがあっても分かりやすい資料があったほうが良いのではないかなと思います。</p>
中野委員	<p>： 東武バスさんが電気自動車のバスを導入されるということでしたが、いつ頃になるのでしょうか。エンジン音が静かになると思うので、対応をどうするのか気になっています。</p>

発言者	発言内容
関根委員	： 昨日のバス専門部会であったお話だと思いますが、バス協会としても導入時期は聞いておりません。課題について検討しているということでしたので、時期については未定だと思います。
稲垣部会長	： 目が見えない方にとって、バスのエンジン音が抑えられるということは、安全面やバスが到着した際の知らせ方など課題はありますので、検討されるものと思います。
星野委員	： アンケートの中に障害の種類という部分がありますが、障害といっても知的障害、精神障害、様々あります。市民全員にということではなく、駅員さん、車の運転手さんなどには知的障害について詳しく知っていただきたいです。アンケートの中にも障害の種類について説明をいただければと思います。
稲垣部会長	： そういう方々に対する理解促進を図ることが重要だということです。今回このアンケートの中での反映事項とすれば、人的支援の受けやすさがあるのかなと思います。
事務局	： どこまで情報を盛り込んでいくかということもございますけれども、今後広く関係団体以外の方にもアンケートを実施していくときに、障害特性や配慮が必要なことなども、周知ご案内ができるような方法というのも検討させていただきたいと思います。
稲垣部会長	： まず、そもそも知的、精神、発達障害の方にアンケートを回答いただくにあたって、適したデザインになっているのかどうか、文字にルビをふるのかについても検討いただければと思います。
関委員	： アンケートの設問が鉄道駅や大宮地区についてなど、色々な要素を含んでいるので、どこを視点にして配布するのか迷うなところです。 細かくなると本当に回答が大変になるので、どういったところを明確に表していくかということを考えていく必要があるのかなと思います。その人その人でイメージするところが違うので、そういった全体のイメージとして市民の方がこう捉えているという回答を導きたいアンケートであれば、それでもいいのかなと思いますし、着目するところを考慮いただけたらありがたいです。
稲垣部会長	： ベーシックな観点で大宮を選んだと思いますが、様々な特性がある地域なのでどこに着目してというのは難しいかもしれないですね。
米山委員	： 大宮地区に住んでいる人がアンケートを回答するとき、大宮地区への外出頻度や移動手段を聞くのはおかしいのではないのでしょうか。
稲垣部会長	： 大宮地区と大宮区が混在してしまうので、大宮地区というものを明確化しておく必要があるのではないかと思います。さらに、その大宮地区に住んでいる方への表現をどうするのかという視点でのご意見もありましたがいかがでしょうか。
事務局	： 地区内にお住いの方にも分かりやすいように、設問の間1、2に対して検討していきたいと思います。
藤田委員	： 満足度は満足が5点、不満が1点のほうが良いのではないのでしょうか。また、問6も問5と同じよう評価は5点方式がいいのではないのでしょうか。
事務局	： 検討いたします。
稲垣部会長	： 多くの方々にアンケートをするという場面を想定した際、視覚障害の方や聴覚障害の方にアンケートを取りたいときに、無作為抽出のアンケートでは難しいかと思いますがどう実施していくのでしょうか。
事務局	： 抽出の方法はあるかとは思いますが、今後検討させていただきたいと思います。

発言者	発言内容
稲垣部会長	<p>： 視覚障害といっても様々な見え方があり、聴覚障害でも全聾か難聴かなど、障害程度は多岐にわたりますが、全部一つのシートにしてしまうとあまりにかさばるのかなと思います。視覚障害者向けのアンケートには障害の状況に関して視覚のことにに関する詳細な情報を聞けるようなアンケートを実施するといったこともできるかなと思います。将来的に実施するかは別として、今回トライアルなので中野さんに協力をお願いして視覚障害の方用のアンケートを作成することも一案として考えられます。</p> <p>アンケートのレイアウトについてなのですが、4ページありますが1ページ目の表紙を別紙にすることで、大宮地区特性に応じた設問の紙面を確保できるのではないのでしょうか。また、問5、6が分かりにくいという問題に関しては、問6を軸にしてその右に問5を横に並べて、5年前との変化を問うのはいかがでしょうか。</p>
事務局	： 検討いたします。
稲垣部会長	<p>： 他にご意見はございますか。</p> <p>それでは、本日のご意見を踏まえて、事務局は対応をお願いします。</p>
事務局	： 3. その他
稲垣部会長	<p>： 最後に、次第の3「その他」になりますが、委員の皆様から全体を通してのご質問など、ご発言がございましたらお願いします。</p> <p>ありがとうございます。事務局からはいかがですか。</p>
事務局	<p>： はい、事務局からは1点ございます。</p> <p>本日、参考資料2としてお配りしました「令和3年度後期「子どもの提案」結果公表（抜粋）」について、簡単にご報告させていただきます。</p> <p>まず、「子どもの提案」制度は、市のまちづくりに関する提案を聴く機会を増やし、提案を市政に反映することを目的として中学生から定期的に意見を募集しているものです。</p> <p>今回、この制度を活用して中学生の皆さんが、「心のバリアフリー」について考えるきっかけになれば、という思いで、「心のバリアフリー」を広めていくには？」をテーマに意見募集を行いました。その結果をまとめた公表資料から一部抜粋したものをお配りしましたので、参考にご一読ください。</p> <p>いただいた提案は、「障害のある人の生活を体験したり、実際に話を聞いたりする」、「学校行事として体験学習などを行う」、「地域や、地域の人たちのことをもっとよく知り、困ったときに助け合える地域を作る」など、学校や日常生活の中で、どのようにしたら「知る」「考える」ことが出来るか、様々なアイデアを出されているのが印象的でした。</p> <p>ご提案は、庁内の関係部署に共有し、今後の取組みの参考としていくこととしております。</p> <p>事務局からは以上になります。</p>
稲垣部会長	： 事務局からの報告に対して何かご意見、ご質問などございますか。
中野委員	： 先日、国土交通省の大宮国道事務所からの依頼で私どもの視覚障害者団体が武蔵浦和地区のバリアフリー対策の現場検証に立ち会ったと聞いていますが、その後の経過を教えてください。
稲垣部会長	： 本日は大宮国道事務所の委員が欠席ですが、事務局は把握していますか。
事務局	： 検証が行われたと聞いてはおりますが、詳細は把握しておりません。
中野委員	： 交差点の安全対策のポールや信号機の設置位置についての検証だと聞きましたが、その経過を伺いたいのです。

発言者	発言内容
稲垣部会長	<p>： 滋賀の大津市で、右折車と直進車がぶつかり、巻き添えで散歩中の保育園児の列に突っ込んでしまった事故が記憶に新しいかと思えます。この事故を受けて、道路管理の観点から横断歩道の部分に車止めを設ける動きが各地にあります。しかし、これが視覚障害者誘導用ブロックと干渉するのではないかと懸念されていて、国土交通省ではその設置方法について議論した経緯があります。もし、今回の事例も詳しい話が分かれば教えていただければと思います。</p>
稲垣部会長	<p>： 以上で本日の議事については終了いたしました。 委員の皆様には、会議の進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。それでは、事務局に進行をお返しいたします。</p>
事務局	<p>： 4. 閉会</p>
事務局	<p>： 稲垣部会長、議事の進行ありがとうございました。 また、委員の皆様におかれましては、大変貴重なご意見を頂戴するとともに、円滑な議事運営にご協力をいただき誠にありがとうございました。 本日いただいた意見を踏まえ、資料修正等を進めさせていただきます。 なお、次回の部会につきましては、特定事業計画のとりまとめ、アンケート調査実施後の来年2月から3月頃の開催を予定しておりますが、部会長・副部会長と日程を調整し、日時と会場が決まり次第、ご連絡させていただきたいと思えます。 本日は、長時間に渡るご審議、ありがとうございました。以上をもちまして、令和4年度第1回さいたま市バリアフリー専門部会を閉会とさせていただきます。 お疲れ様でした。</p>